

クラス番号	315	担当教員名	両角達平
		他専修学生受入上限人数	2 名
テーマ	若者と社会のあいだを研究する——ユースワーク・若者政策・北欧		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

ユースワークは、若者が自らの意思で参加することを大切にしてきた実践です。本ゼミではこれまで「若者の生活世界の構想」をテーマに、ゼミ生が立ち上げるプロジェクトを中心に活動してきました。2027 年度からはプロジェクト型から転換し、研究を中心とするゼミにします。

ゼミは、「やりたいこと」をつくる場ではなく、みなさんがすでに持っている実践や関心を、研究として深めるための方法を学ぶ場です。こんな人を歓迎します。

- ・居場所づくり、子ども・若者支援、学生団体、地域活動など、ユースワーク的な活動にかかわっていて、その経験を研究として問い直し、深めたい人

- ・若者参画や、スウェーデンをはじめとするヨーロッパの国・地域の若者政策や教育に関心がある人

- ・自分の機嫌は自分で取れる人、他者とのかかわりを大事にする人

研究は一人でするものではありません。互いの問いや原稿を読み合い、議論し、ゼミ合宿なども通じて、学び合うゼミをつくっていきます。

なお、本ゼミはミスマッチを防ぐことをとても大切にしています。エントリーシートに書かれた内容を重視し、選考にあたっては必ず面談を行います。

授業計画：

3 年時

前期：チームビルディングを行い、ゼミの仲間との関係をつくります。あわせて、ユースワーク、若者政策、若者参画に関する基本文献を輪読し、各自の活動や関心を持ち寄って言語化します。

後期：研究の方法（文献レビュー、インタビュー、参与観察など）を学びます。また、一人ひとりの中にある物語（ストーリー）を出発点に、研究したいことを深める「卒論チュートリアル」を実施し、研究テーマと研究計画を固めていきます。国内外の実践の現場の見学や、実践者との対話も行います。

4 年時

前期は、3 年次の冬休み中に各自が読んできた文献を発表し合うことから始め、卒業論文につなげていきます。後期は卒業論文の仕上げに取り組みます。自らの興味・関心・問題意識に沿って問いを立て、深め、自分なりの答えを出すこと、アカデミックな作法を守りながら論理的に表現できることを目標にします。

その他

- ・オンラインのプラットフォームとして Discord を使用します。

- ・両角ゼミの運営は民主主義・自治を大事にします。ゼミ長を中心に、できるだけ学生が運営し、教員が補助する形をとります。

- ・例年、夏には 3・4 年合同のゼミ合宿を行っています。2027 年度以降も実施する可能性がありますが、実施の有無や内容はゼミ長と相談して決めます。

- ・北欧（スウェーデン）での研修を実施する場合には、ゼミ生の参加を優先します（実施は確約されていません）。

担当教員からのメッセージ

大学生の時に「社会との距離が遠い」ことに疑問をもち、ユースワークのヒントを探りにスウェーデンを訪ねたことが運の尽きでした。それからスウェーデンのユースセンターやドイツの若者政策の国際 NGO で働き、ヨーロッパのユースワークと若者政策を研究・発信してきました。若者をはじめとするあらゆる人が参画する社会はどうすれば拓けるのか、いつも考えています。自分がかかわってきた実践や、日々感じている「なぜだろう」という違和感を、仲間と議論しながら研究としてじっくり深めてみたい人を待っています。

エントリーシートには、①ゼミ選択の理由、②いま自分がかかわっているユースワーク的な活動（いまかかわっている活動がなければ、これからやろうとしていること）、③これまでに両角の授業を受けたことがあるかどうか（ある場合は科目名）を記入してください。エントリーシートの内容はとても大事にします。